

令和7年度
議会懇談会報告書

令和7年12月
議会事務局

目次

1. はじめに	1
2. 開始地域、開催日及び参加者数	1
3. 班編成及び構成	1
4. 議会懇談会次第	1
5. 参加者への配布資料	2
6. 総括	2
7. 町長への要望事項（議会懇談会で意見のあった町要望事項）	3
8. 議会懇談会における意見・要望等に対する回答	4

<資料>

○議会懇談会アンケート集計結果

○与謝野町議会懇談会 配布資料

令和7年度議会懇談会報告書

1. はじめに

与謝野町議会では、平成24年3月に制定された「与謝野町議会基本条例」第4条に基づき、町民の皆さまと意見交換を行う場として、毎年「議会懇談会」を開催しております。

令和7年度は、10月9日（木）・15日（水）・17日（金）の3日間、町内3会場にて開催し、延べ34名の皆さまにご参加いただきました。ご多用の中ご出席いただきました町民の皆さまをはじめ、ご協力いただきました関係各位に、心より御礼申し上げます。

今回の懇談会では、与謝野町議会の取組について報告したのち、「カフェ方式」による意見交換を行いました。4班に分かれ各テーブルに議員が入り、参加者の皆さまとの対話を通じて、多くの貴重なご意見・ご要望をいただくことができました。

当日寄せられたご質問やご意見につきましては、議会で取りまとめ、可能な限り丁寧に回答を掲載しております。また、併せてアンケートの集計結果もご報告させていただきます。

いただいたご意見の一つひとつを大切にしながら、今後も創意工夫を重ね、より開かれた議会運営をめざしてまいります。引き続き、町民の皆さまの温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 開催地域、開催日及び参加者数

地域	開催日	会場	参加者数
岩 滝	10月 9日（木）	知遊館（あじさいホール）	11名
野 田 川	10月15日（水）	野田川わーくぱる（多目的ホール）	11名
加 悦	10月17日（金）	元気館（農事研修室）	12名
合計	3日間	3会場	34名

3. 班編成及び構成

区 分	氏 名（敬称略）			
1班（Aテーブル）	宮崎有平（班長）	今井浩介	永島洋視	河邊新太郎
2班（Bテーブル）	和田裕之（班長）	藤田史郎	三田義幸	高岡伸明
3班（Cテーブル）	野村生八（班長）	山崎政史	山崎良磨	—
4班（Dテーブル）	浪江秀明（班長）	家城 功	安達種雄	杉上忠義

4. 議会懇談会次第

- （1）開会（議会運営委員長）
- （2）開会のあいさつ（議長）
- （3）議会からの報告（議会運営委員長）
 - ・議会からの報告について
 - ・総務文教厚生常任委員会について
 - ・産業建設環境常任委員会について

- ・広報常任委員会について
 - ・今後の取組
- (4) 懇談
- ・自己紹介
 - ・懇談
- (5) 閉会のあいさつ（議会運営委員長）

5. 参加者への配布資料

- ・与謝野町議会懇談会資料（次第、議会からの報告、与謝野町議会の概要）
- ・よさの議会だより（第77号 2025年8月8日発行）
- ・アンケート用紙

6. 総括

与謝野町議会では、議会基本条例に基づき、町民の皆さまの声をお聞きする「広聴活動の場」として、今年度も議会懇談会を開催いたしました。

令和7年度は、昨年度に引き続き「まちづくり」をテーマに、旧町単位の3地域において懇談会を開催し、参加者の皆さまと4つの班に分かれて意見交換を行う「カフェ方式」を採用いたしました。各班に議員が加わり、双方向の意見交換を進めてまいりました。

ご参加いただいた皆さまからは、少人数で話しやすかったとのご意見が多く寄せられ、自由な雰囲気の中で幅広い話題が交わされたことを嬉しく受け止めております。その一方で、参加者数は昨年度と比較して減少し、特に若年層や女性の参加が少なかったことは、今後の大きな課題と認識しております。

また、懇談会のあり方そのものに対しても、各会場において貴重なご提言をいただきました。こうしたご意見を真摯に受け止め、より多くの方にご参加いただける工夫が必要であると考えております。

本年度の懇談会では、「議員定数のあり方」や「町有施設の利活用の方針」、「公共交通の利便性の確保」など、町政全般に関わる多岐にわたるご意見を頂戴しました。加えて、人口減少の進行や、地域の将来像をどのように描いていくのかといった中長期的な視点からのご質問もあり、まちづくりに対する町民の皆さまの高い関心がうかがえました。

これらのご意見は、町政への期待とともに、議会に求められる役割の重さを改めて認識する機会となり、今後の議会活動の指針として大切に受け止めてまいります。

議会へのご期待やご要望を真摯に受け止め、今後の議会運営に活かしていくことが、私たち議員の責務であると強く感じております。

最後に、今回の議会懇談会を通じて改めて浮かび上がった課題と、今後の取り組むべき方向性を以下のとおり整理いたします。

今後の議会の課題と方向性

- ・町民の皆さまからいただいたご意見・ご要望を丁寧を受け止め、行政に的確に届けてまいります。
- ・町の政策に対し、必要な提案や改善案を示すとともに、町民の皆さまとの協働を大切にまいります。
- ・議員としての資質と知識の向上に引き続き努めてまいります。
- ・地域団体や各分野の皆さまとも意見交換を深める場を設け、多様な声を議会活動に反映させてまいります。

今後も引き続き

- ・町民の皆さまに開かれた議会
 - ・声を受け止め、信頼に応える議会
 - ・参画と協働を通じて町政を進める議会
 - ・政策提案とチェック機能を担う議会を目指し誠実に取り組んでまいります。
- 皆さまの温かいご理解とご協力を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

7. 町長への要望事項

議会懇談会で、町民の皆さまから寄せられました町に対するご意見・ご質問・ご要望のうち、次の事項について、令和7年12月19日に、山崎議長、今井副議長、宮崎議会運営委員会委員長、永島議会運営委員会副委員長が議会を代表し、山添町長に要望書を提出しました。

議会懇談会で意見のあった町要望事項

No.	質問・意見・要望等
1	阿蘇ベイエリアに京都北部の観光客を集客できる「仕組みづくり」が必要では。自動車で来た人が立ち寄るためには何が必要かを考えるべき。
2	地域の活性化に対してもっと力を入れて取り組んでいただきたい。
3	野田川庁舎の今後について（耐震性と解体の可能性） ・野田川庁舎については耐震性に課題があると聞いているが、今後の方針はどうなっているのか。 ・解体などの予定はあるのか。
4	太陽光パネル（メガソーラー）が設置されると、環境悪化につながらないか懸念がある。 ・光の反射、熱の問題、使用後の廃棄など、さまざまな問題があると思うが、町では検討されているのか。
5	高齢化が進む中で、地域交通の更なる充実を図るべきであると考えている。手厚い配慮をお願いしたい。
6	自治区のマイクロバス利用の支援も手厚い配慮をお願いしたい。
7	地域交通の不平等さと不便さを感じている。更なる対策を。
8	野田川改修同盟会で堤防の草刈りをしているが害虫が増えてきている。野焼きなどの対策ができるように配慮していただきたい。
9	介護施設への送迎に対する助成制度を設けてほしい。
10	春の町内一斉清掃は、4月限定と行政から説明を受けたが、各区において都合があるので希望に対応していただきたい。
11	阿蘇海の浄化を目的に毎年「カキ殻回収」に参加しており、最近は若い世代の方も多く参加していただいているが、回収した「カキ殻」を運搬する手段と運搬先がないことに困っている。「カキ殻」の有効な活用方法や対策、運搬先などのアイデアを出し合い対応できる体制づくりをお願いしたい。
12	各種計画に対する反省がない。

8. 議会懇談会における意見・要望等に対する回答

○各会場で町民の皆さまから出された 質問・意見・要望等と 回答（対応等）については、次のとおりです。

No.	質問・意見・要望等	回答（対応等）
① まちづくり・地域活性化		
1	人口減少対策について ・仕事がない。 ・一定の収入が確保できなければ、若い人は帰ってこないのではないか。 ・映画館や娯楽施設がないと、若い人は帰ってこないのではないか。	・仕事づくりは大きな課題ですが、なかなか結果が出ていないのが現状です。 そのため、他自治体にならぬ福祉の充実など、別の魅力で人口増や活性化を図る必要もあると考えます。
2	リフレかやの里について ・運営の応募状況はどうか。 ・今後どのようにしようとしているのか。	・募集を行いました但応募はありませんでした。引き続き民間活用を検討するとの町の説明はありましたが、現時点では具体的な見通しは立っていません。
3	まちづくりに対する町民意識の高め方について ・質の高い話についていける町民は少なく、行政がアンケートなどを実施していても、一部の町民にとどまっております、多くの町民に広がっていないと感じる。 ・まちづくりは行政主導型になっており、町民が自分ごととして意識を高めるにはどうすればよいかを考えるべきではないか。 ・議会や町長だけを責めるのではなく、町民自身もまちづくりに関わろうとする努力が必要だと思う。 ・町が進めるまちづくりがなかなか進まず、結果が出てから批判する町民が出てくるのが現状ではないか。	・こども園の整備についても、町民の皆さまからいただいたご意見や、議会内での活発な議論を踏まえ、交通や浸水といった課題に対する対応が検討・修正されてきました。 ・建設費の増大についてはご懸念もありますが、整備費約 20 億円のうち、補助金や過疎債による交付税措置を活用することで、実質的な町の一般財源負担は約 6 億円程度となります。 ・こうした財政的な仕組みや背景についても、丁寧に町民の皆さまへお伝えする必要があると考えています。
4	ふるさと納税の特産品について ・町にはこれといった特産物（特に海産物）が少ない印象がある。 ・米などは良いと思うので、そうした特産品の提案・工夫をしてほしい。	・特産品は出しています。 ・ふるさと納税の目標額は 1 億円ですが、現在は 6 千万円程度で、年々増加傾向にあります。
5	議員の考えるまちづくりとは何か。	・インフラ整備や福祉の充実など、町民の暮らしを支える施策を着実に進めることが重要だと考えています。
6	・下山田地域では、与謝野駅 100 周年を記念して、駅周辺を盛り上げるためのイベントなどを行っている。 ・議員はこうした取組についてどのように考えているのか心配している。ぜひ足を運んでほしい。	・地域の皆さんが主体的に取り組まれていることは素晴らしいと感じています。 ・与謝野駅には個人的にも思い入れがありますが、新駅舎の建設などに関してはさまざまな意見や思いがあり、慎重な対応が求められると考えています。
7	・戦略がなければイベントで終わってしまう。 ・継続的に取り組むためには戦略と実行が必要であり、それを考える人材（コンサル等）も重要ではないか。	・自分たちでできることから始めることが重要だと考えます。 ・補助金を当てにするコンサル（人材）では意味がなく、職員の熱量こそが鍵だと感じています。

8	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に人口減少が進んでいる。もっと行政がコンパクトにならないと持続は難しい。行政としてビジョンやグランドデザインはあるのか。なければ作るべきでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 本町も人口減少が進んでおり、区の運営が困難な地区も出てきています。 将来を見据えた持続可能な町づくりのために、ビジョンや方向性を意識しながら取り組んでいきます。
9	<ul style="list-style-type: none"> 地域のリーダー的存在が少なくなってきたおり、その方が動けなくなった場合の将来が不安。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりや担い手を育てるためにも、地域の方が集まるような機会を意識的に増やしていくことが大切だと感じています。
10	人口減少を見据える上で、町民アンケートを実施して、議会としても現状をもっと把握すべきでは。	人口減少への対応は重要な課題であり、議会としても何をすべきか協議していくことが必要だと考えています。
② 公共施設・インフラ整備		
11	給食センター整備について。岩滝小の自校給食が無くなるのはどうか。	財政的な理由から、学校給食の提供はセンター方式に一本化する方針とされました。
12	<p>クアハウスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用していない。これからも費用負担が必要な施設なので無くしたほうがいいのか。 赤字6千万円で指定管理料4千万円なら、安くなっているのではないかな。 町がそれだけのお金を使ってまで維持する必要がある施設なのか。判断が必要ではないか。 町が多額の支出に耐えられないなら処分すべきではないか。処分するなら早いほうがよいのでは。 多くの人の存続署名が出されたが、署名した人が実際に利用しているのか疑問ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の存続については、議会としても慎重な判断が必要と考えています。 本町の方針として「5年間は指定管理により運営し、その後は民間貸付を目指す」という方針が示されています。 貸付に至る前には大規模改修が必要となる見込みであり、その時点で改めて議会としても判断を求められることになると考えています。
13	野田川認定こども園は、町内（石川財産区）の木材を使うと聞くが、今から伐採して、建設に間に合うのか。	自然乾燥ではなく、機械乾燥（強制乾燥）を行うため、伐採後でも十分間に合う見込みです。
14	<ul style="list-style-type: none"> 与謝野駅やクアハウス岩滝の整備などは、その地区にとっては良い話だと思う。 しかし、町全体として見た場合、予算の綱引きのように感じられ、全体にどう波及するのか分かりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画があるが、それに沿っていないため課題が生じていると感じています。 計画に明記されていない事業が、突然打ち出される現状があります。
15	クアハウス岩滝を指定管理にすることで、運営費は安くなるのか。	債務負担行為により予算の上限（枠）が決まっているため、町の提案では運営費が縮減される見込みとなっています。
③ 福祉・教育・子育て支援		
16	<p>野田川こども園について</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園と保育園は設置目的が異なる。それを統合することに問題があるのではないかな。 岩滝、加悦地域のこども園が整備されている中で、野田川地域だけ整備されないと、不公平感があるのではないかな。 少人数保育の考え方もあるが、一定の集団での保育も必要ではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 設置場所は決定されていますが、9月議会では国道沿いでの交通安全上の課題や、事業費の増額が問題となりました。

17	<p>学校統廃合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統廃合の時期はいつなのか。 ・地域から学校がなくなることの影響は大きいのではないかな。 ・学校がなくなれば、家を建てる人もいなくなる。 ・三河内・岩屋は加悦に、石川・山田は岩滝に統合すべきではないか。 ・近隣でも1クラスのみ学校や小中一貫校がある。そうした実態を調べるべきではないか。 ・桑飼では学校がなくなり、スポーツをする場所や災害時の避難場所がなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加悦中学校と江陽中学校の統合は令和15年度以降、野田川地域の小学校の統合は令和12年度以降という町の方針は示されていますが、地元等の意見を聞いておらず、統合の是非や時期は流動的です。 ・綾部市では、1クラス10人程度の小規模特認校があり、単に1クラスになるから統合という理由は成り立たないという考え方もあると聞いています。
18	<p>带状疱疹ワクチンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・带状疱疹ワクチンは5歳刻みの対象となっているが、どうしてか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ようやく高齢者の定期接種となったが、現状は国の経過措置によるものです。
19	<p>まちづくりと子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のまちづくりにおいては、子育て支援が重要だと考えるが、議員はどのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本町は子育て支援は充実していると考えています。 ・現役の保護者としては、20年前に比べて色んな支援制度が進んでいる。例えば、出産時の10万円支給や子どもの医療費窓口負担200円など、子育てしやすい環境の支援が進んでいる。 ・給食費の無償化については、まだ実現していませんが、国の動向を見ながら、今後実現できればと考えています。
20	<p>給食費無償化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、給食費の無償化が実現できていないのか、その理由も知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化には、年間で約8,000万円程度の財源が必要と見込まれています。 ・この費用は毎年度、継続的に必要となる経常的な支出であるため、現状の町の財政状況では実施が厳しいと考えています。
21	<p>給食費の金額について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1食あたりの給食費はいくらかかっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1食あたり約230円程度です。
22	<p>給食費無償化に関する議員の関心について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費無償化については、議員自身の子どもがいないため関心が薄いのではないかと考えるが、そもそも議会でこの問題は取り上げられているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費無償化については、多くの議員が議会においても質問・提起を行っています。
23	<p>給食費無償化の進捗について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一向に無償化が進まず、実現していない状況が続いているが、どのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この件に限らず、粘り強く何度も議会で取り上げ、多くの議員が継続的に質問・提案していくことで、実現に向けて取り組んでいくのが、私たち議員の役割だと考えています。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施策について、現状どのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて福祉施策の先進地でしたが、近年では他市町に比べて遅れが見られる部分もあるのが現状です。 ・議会としては、町民の福祉向上に資するよう、福祉施策の充実を引き続き訴えてまいりたいと考えています。

25	<p>町政懇談会でも訴えたが、物価高騰対策事業にお金を投資するより、値上げを予定している下水道料金などの公共料金の抑制に投資する協議をすべきでは。</p>	<p>値上げ対策の取組や、お金の使い方についても、議員としての役割を果たしてまいります。</p>
④ 行政運営・政策評価		
26	<p>野田川認定こども園議案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金額などの詳細は分からないが、なぜ否決されたのか。 	<p>主な理由は2点あります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つは、出入口や進入経路、交通に関する課題があること。 ・もう一つは、敷地の浸水リスクに対して嵩上げが必要とされたことです。
27	<p>補助金の活用と低所得者支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町政懇談会でも発言したが、省エネ家電の補助事業やプレミアム商品券事業に使われたが、私たち低所得者層にとっては高額の家電等には手が届かない。 ・今月から水道料金が値上げされるが、交付金を活用すれば、町民全世帯について1年間程度は値上げを回避できたのではないか。 ・水や電気は生活必需品であり、物価高騰対策補助金はこうした負担軽減に活用すべきだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ家電買換応援事業は令和6年度事業であり、予算の執行率が50数%と低かったため、プレミアム商品券事業に振り替えて実施しました。 ・ご指摘のとおり、補助金が低所得者を含めて広く行き渡るようにすることも重要な視点であり、今後の施策検討においても考慮すべき点だと受け止めています。
28	<p>プレミアム商品券の執行率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のプレミアム商品券事業について、執行率は100%となる見込みか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在集計中、分かりません。
29	<p>公共料金への補助金活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道など誰もが利用する公共料金に対して、補助金などの支援が平等に行き渡るようにすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料への活用との要望を行いました。実現には至りませんでした。
30	<p>実質公債費比率の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実質公債費比率が全国ワースト2位と言われたことがあるが、今年度の数値はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の実質公債費比率は15.8%となっています。
31	<p>行政サービスと答弁への納得について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政には、赤字が出てもやらなくてはならないサービスがあることは理解している。 ・説明を聞く側としては、中途半端な説明ではなく、納得のいく答弁が求められると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政側も議員も、町民の皆様に納得いただけるよう、より丁寧で分かりやすい説明や答弁に努める必要があると受け止めています。
⑤ 議会制度・議会の役割・情報発信		
32	<p>与謝保育園の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧与謝保育園の利用に際して、議会の議決を経ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議決事項ではありませんでした。施設の利用については、地元を優先して対応しています。
33	<p>議会懇談会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区でも議会懇談会は開催してもらえるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望があれば開催を検討いたします。町民の皆さまのご意見をお聞きすることは大切であると考えています。

34	<p>議会だよりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい議会だよりになっていると思う。 ・「議員になりませんか」の特集は良い企画だと思う。 ・I 議員の発言問題が町民に知らされていないのではないか。 ・テーブル方式の懇談会は良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問議員の氏名を掲載していない広報紙は、他の自治体議会にも例があります。 ・一般質問が2～3人程度という自治体もあります。 ・I 議員の発言問題については、令和6年11月10日発行の議会だよりにおいて特集を組んでお知らせしています。
35	<p>町民の意見を聞く議会の体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町には「街角役場」があり、ポストに名前と用件を書けば返事がもらえる。 ・議会にも同じように、町民の声を聞く仕組みはあるのか。 	<p>議会には、要望・陳情・請願といった制度があり、文書で正式にご意見をいただくことができます。</p> <p>また、議会懇談会は町民の皆さまの声を伺う場として開催しており、まちづくりの参考にさせていただいています。</p>
36	<p>消費税減税に関する地方議会からの働きかけについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わずかな年金で生活している者にとって、物価高騰は深刻であり、暮らしが大変。 ・参議院選挙では、財源の問題はあるにせよ、各政党ともに消費税の減税を主張していたのではないか。 ・地方議会から国に対して、消費税減税を求めるような働きかけや制度はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国に対して意見を伝える方法としては、町民から議会に対して「意見書提出を求める請願」などを提出していただき、それが議会で採択されれば、町議会として正式に国へ意見書を提出することが可能です。
37	<p>請願に必要な人数について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請願を提出するには、何人の署名が必要なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・請願は1人でも提出可能ですが、紹介議員が1人以上必要です。
38	<ul style="list-style-type: none"> ・岩滝会場では、どのような意見や要望が出されたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが大きかったこともあり、様々な要望が寄せられました。 ・「まちづくり」をめぐる議論の中で、例えば、町民の意見を広く吸い上げるために、議会が町民アンケートを実施してはどうかとの意見もありました。
39	<p>基本計画策定と議会の関与について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次総合計画（基本計画）の策定途中だと思うが、議会も早い段階から関与していただくほうが良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は、策定された計画をもとに審議することが基本的な役割の考え方です。
40	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、議員数は欠員が1人で15人となっているが、さらに1人減らして14人にするような提案や意見は、区長会などから出ていないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「これからの与謝野町議会を考える会」という団体から、定数削減の要望が寄せられている。
41	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬や議員定数を引き下げると、議員のなり手が更に無くなってしまうのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けを行っているが、なり手が見つからない状況です。
42	<p>議会中継と広報の工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会中継の時間が長く視聴が難しいと感じる。 ・広報委員会を中心に、議会中継のダイジェスト版を作成するなど、町民にとって分かりやすい情報提供を工夫してはどうか。 ・議会だよりでも、そうした工夫ができるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりには字数の制限があり、伝えられる内容には限りがあります。 ・議会中継の視聴環境や広報の工夫については、今後の検討課題と受け止めています。

43	<p>一般質問の事前通告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に、質問内容は行政側へ出されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問については、事前に通告する仕組みとなっています。
44	<p>本会議前の事前調整について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議の前に、議会内で事前に調整が行われているのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会において事前に質疑を行います、その場で回答が得られなかった場合は、本会議において改めて質疑を行います。 ・本会議では、納得が得られていない事項について、町民の皆様に対しても明らかにするために質疑を行っているものです。
45	<p>議案反対理由の明記について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりでは議案に対する賛否表が掲載されているが、反対した議員の理由が明確でない。 ・反対理由を記載することはできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反対する場合は、本会議において質問や反対討論を行うことが基本的な姿勢であると考えています。 ・そうした発言がない場合は、議会だよりに反対理由を記載することは困難です。
46	<ul style="list-style-type: none"> ・他の団体とどのような懇談を行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年は、産業建設環境常任委員会において商工会との意見交換会を実施しました。 ・私設団体である「これからの与謝野町議会を考える会」との意見交換会も、全議員を対象に実施を予定しています。
47	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は年に一度は地域おこし協力隊と懇談をすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっともなご意見です。今後の参考にさせていただきます。
48	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域から人を呼び込んで人口を増やすことが重要だと考える。 ・そのためにも、視察に行った際には、どのような形でフィードバックを行っているのか知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各議員が視察内容をレポートにまとめており、その学びや気づきについては一般質問等の場を通じて発信・提案を行っています。
49	<ul style="list-style-type: none"> ・議員として、職員に対し議案が通るよう指導や助言はできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員は執行機関である職員に対して指導や指示を行う立場にはありません。 ・立場を尊重しつつ、必要に応じて意見や提案を行うことは可能ですが、あくまで議決機関としての役割を踏まえた対応が求められます。
50	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会の実施方法（カフェ方式）に疑問を感じている。 ・昨年と同様の形式だが、昨年の良かった点を具体的に挙げてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容がより深まり、充実した意見交換ができた実感しています。 ・テーマに対して参加者一人ひとりの考えが丁寧に聞けることが、カフェ方式の良さだと感じています。
51	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会は「町民の声を聞く」ことが本来の目的ではないか。 ・前回「持ち帰って後日回答する」と言っていたが、何の返事もなかった。地域では「今回は参加しない」という意見も多く出ている。返事はすべきでは。 ・町民は、議会の動きや考え方を知りたいと思っている。この形式（カフェ方式）より、数人で直接話を聞きに行ったほうがよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会は、町民の声を聞き取る場であると考えており、今後もしっかり申し送りを行います。 ・回答や返事に漏れがあったのであれば、深くお詫び申し上げます。 ・議会だより等での情報発信や「町民の声」欄の活用など、町民の皆さまとの情報共有や意見交換の機会づくりに努めてまいります。 ・カフェ方式は、一人ひとりが発言しやすい雰囲気重視しており一定の成果も感じていますが、今後の方法についてもご意見を参考に検討してまいります。

52	・テーマが「まちづくり」となっているが、漠然としすぎではないか。	・ご指摘のとおり、範囲が広いテーマではありますが、特定のテーマにこだわらず、自由な意見をいただくことを大切にしています。
53	・町政 20 周年にあたり、議会として全町民に向けたアンケートを実施し、町民の考えや意見を共有してはどうか。	・議会として実施すべきかどうか、今後の検討課題としたいと思います。
54	・議会のことは、誰に、どうやって相談をしたらよいのか。	・議員であれば誰にでもご相談いただけます。 ・議員の基本的な役割は、町民の皆さまの声をお聞きすることだと認識していますので、遠慮なくお声がけいただければと思います。
55	議会だよりの「町民の声」は誰の声なのか。	広報委員会の委員がランダムにお聞きした町民の声です。
⑥ 地域課題（環境・防災・生活）		
56	学童保育所整備について ・整備中の石川学童用地の溝が深く危険であり、フェンスの設置を求めたが対応されていないのではないか。 ・石川公民館駐車場を提供する際、フェンス設置は条件になっていたはずではないか。	・条件になっているという話は、今回初めて聞きました。
57	・安心安全なまちづくりに向けて、年齢を超えた住民同士の交流や、買物難民への支援策などが必要ではないか。	・買物難民対策については、加悦地区の区長会からも町に要望が出ている状況です。
58	・石田地区にはダイオキシン測定器が設置されていない。対応の予定はあるか。	・環境組合議会において、確認（提案）させていただきます。

○参加者と議員で一定議論はしたものの、結論（回答）に至っていないもの

No.	質問・意見・要望等
① まちづくり・地域活性化	
59	区運営について、人口減少により区役員の確保が困難となっている。町や議会には改善施策を求めたいが、行政の援助は受けられないのか。
60	産業について ・町の産業振興に対する明確な方針が見えないのではないか。 ・丹後人会などを通じた企業誘致を検討してはどうか。 ・「仕事がない」と言うだけでは進まないのではないか。 ・町の強みや光るものを見つける必要があるのでは。 ・伊根町への観光客を町内に誘導することはできないか。 ・企業誘致は全国的な競争であり、容易でないのでは。
61	若者の地元回帰と仕事づくり・財源確保について ・高校や大学、専門学校等を卒業後、一度都会へ出た若者のうち、地元へ戻ってくるのは 3% 程度にとどまっている。 ・地元に戻らない理由として、「働く場（受け皿）がない」と言われており、雇用の創出が重要である。 ・行政には、起業支援など産業を立ち上げる取組も求められる。 ・議員も中心となって、働く場づくりや起業支援に積極的に関わってほしい。 ・また、財政面では自主財源が少ないが、ふるさと納税の確保に向けて、町長・職員・議員が一丸となって取り組むべきではないか。

62	<p>山間地域の農業の厳しさと地場産業としての維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが帰ってきてても仕事がない」というのは事実であると思う。 ・自分自身も農家だが、特に山間地域の農家の現状は厳しく、現役引退後に農業を引き継いで頑張ろうという人が少ない。 ・目の前の農業の現状にしっかりと向き合い、地場産業の農業が持続できるよう支援を強化してほしい。
63	<p>観光について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加悦地域には観光資源があるが活用が中途半端であり、天橋立への観光客をどうつなげるかが課題。 ・行政だけでは難しい面もあり住民主体の取組も重要。 ・SL 広場のような施設が残されていればよかったという声もある。 ・体験型観光をもっと PR し、雨天でも観光が楽しめる仕組みが必要。 ・魅力あるイベントの開催。 ・地元にお金が落ちる経済的効果のある取組が必要。 ・宿泊できる場所が少ない。 ・古民家を活用したゲストハウス等の取組が始まっている。
64	<p>移住・まちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町に魅力があれば自然と移住者は増える。 ・インフラ整備（例：子どもの医療費無料化など）により暮らしやすい町を目指すことが重要。 ・岩屋地区では移住者が増えており、子どもの数も減っていない。 ・与謝野町は福知山・舞鶴・豊岡など各方面へのアクセスが良好で、子育て環境を整えば移住者が増える可能性がある。 ・加悦地区ではスーパーや銀行がなくなり、町民が将来を心配している。 ・町民自身が地域の良さを再認識し、地域の魅力を広めていくことが大切。 ・大雨など環境変化に強いまちづくりも必要。 ・広がる田んぼなど、地域の自然も魅力の一つ。
65	<p>桑飼地区にはグラウンドがなく、地域コミュニティ醸成にも不便さを感じている。</p>
② 公共施設・インフラ整備	
66	<p>こども園整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備用地付近に反 30 万円で購入できる土地がある中で、なぜ現在の場所に建設するのか理解できない。お金がないと言いながら矛盾しているのではないか。 ・議員は提案にただ賛成するのではなく、しっかり審議し、問題があれば否決するべきではないか。
67	<p>予算や財政の話について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園の整備費は 20 億円といった数字だけが一人歩きし、町民が勘違いしてしまう可能性がある。 ・補助金や交付税措置などの財源構成や根拠を含め、町民が正しく理解できるよう説明すべき。 ・地元産木材を活用した「総檜の保育所」など、町の財産を活かしたまちづくりの発想をもっと取り入れてほしい。 ・そうした建設・整備のあり方が、まちづくりの話題にもなり、町民の意識醸成にもつながるはず。 ・こうした話が進まないのは、なぜなのか。
68	<p>町の木材利用と情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は財産区の役員や森林組合総会の議長を務めた時に聞いた話では、石川区では杉が足りないで檜を使用すると聞いた。 ・杉と檜を同じ価格で見積もるという発想は、お金にとらわれた考え方に思える。 ・こうした木材利用の実態や考え方を町民に広く情報発信していくことが、一つの知恵となるのではないか。

69	<p>野田川認定こども園整備における地元材の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野田川認定こども園は、石川財産区の木材を使っていただく予定であり、委員も熱心に取り組んでいる。 ・石川区内では「林業をもう一度なんとかしよう」という意識が高まり、他県の自治体へ視察にも行っている。 ・石川財産区では檜の比率が高いが杉も多い。 ・単価は檜の方が高いが杉と同等の単価でしか買えないとのことだった。 ・高値では買ってもらいたいのが現状だが、そこまでの条件は求めないので、とにかく地元産の材料を使ってほしいという強い気持ちがある。 ・石川財産区単独での見積もりを行っており、なんとか実現できると考えている。
70	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の改修については、多くの予算を使ってほしいというわけではない。 ・私たちが思っている内容と少し違う部分があると感じている。
71	クアハウス岩滝の指定管理者は決まったのか。クアハウスはもう廃止すべきでは。
③ 福祉・教育・子育て支援	
72	<p>通学自転車補助について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学にかかる自転車の購入費が10万円、制服や体操服などで8万円が必要となる。補助制度の創設ができないか。
73	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市と比較すると、与謝野町は土地や住民税、ゴミ袋などが安い。 ・一方で、ゴミの分別が大変だと感じている。
74	<ul style="list-style-type: none"> ・引きこもりが多いことが気になっている。
75	町民の多くは日々の生活に困難さを感じていると思う。その実態を理解してきめ細やかな政策を進める提案をしていただきたい。
76	夏の防犯パトロールについて、今のやり方では意味がないと感じている。やり方などの内容を見直す必要がある。
④ 行政運営・政策評価	
77	<p>町づくり計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長は、どんな、まちづくりをしようとしているのか、全く見えてこない。 ・町活性化への真剣な姿が見えない。
78	<p>こども園について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政が悪化しているのに、建設が集中し、財政健全化が図られていないのではないかと。
79	<p>まちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりができていないと言われても、イメージがわからない。 ・範囲が広く、何から話したらよいのか分からない。 ・町が目指しているものは具体的に何なのか、詳しく教えていただきたい。

80	<p>まちづくりに対する考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりは行政が作るものではなく、町民の主体的意識が高まったときに、望ましい町が実現するものだと思う。 ・行政のトップのアイデアだけで進めるのではなく、町民の問題意識や関心が高まることで、優れたトップも生まれてくる。 ・今の問題点を町民に正しく伝え、共有し、オープンにすることで共通の課題となり、行政も動かざるを得なくなるのではないか。 ・東京都の一例として、特別会計で21年間消費税が未納であった問題がある。監査や議会、国税庁も気づいていなかったが、一人の都議（税理士・公認会計士）が調査して問題提起した。 ・議会は行政の問題点、とりわけ決算や財政面について、議決権をもとにチェックし、どれだけ質問できるかが重要だと思う。
81	<p>議会に求める情報共有と問題認識について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町政懇談会でも発言したが、昨年11月に岩屋小跡地に整備される給食センターの整備費は、消費税を含め22億円を超える。 ・3つの入札の落札率は、それぞれ99.9%、99%、97%で非常に高く、府や他市町村では考えられない水準。 ・娘が石川に住んでいるのでこども園は気になる話題だが、議会が否決したという話は石川では知られていた一方で、岩屋では伝わっていなかった。町全体のことなのに不自然に感じる。 ・いま町で何が問題になっているか、まず議員がきちんと認識し、それを町民に伝えてほしい。 ・今日、一番言いたかったのはこの点であり、確認しておきたかった。
⑤ 議会制度・議会の役割・情報発信	
82	<p>議員活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区事務所に足を運んで状況を把握し、地域要望を実現するような活動ができていないのではないか。
83	<p>議員定数削減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・削減した場合、町民の意見や声が届かなくなることをきちんと知らせたうえで、町民の意見や判断を求めるべきではないか。
84	<p>昨年もこういう形式（カフェ方式）で、「まちづくり」というテーマも一緒だが、これは重要だという意図は何か。</p>
85	<p>議会懇談会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が少なく、町全体の意見を語るには無理がある。 ・同じ形式で同じテーマを繰り返すのは無駄な気がする。 ・昨年も町民全体を対象としたアンケートを実施してはどうかと提案したが、議会は「やらない」と言われ、時間切れで終わった。町政懇談会にも同じことを言っている。 ・町民の幅広い声を聞くべきではないか。
86	<p>議会への要望（町民の声）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの意見（全町民）を聞いて頂いて、なんとか町のために良くなること、方向性を見つけたい。
87	<p>地区代表の議員という意識ではなく、議員は町全体の代表であるはず。自分の地域だけでなく、他の地域にも温かい目で見てほしい。</p>
88	<p>議会中継視聴を通じた質問に対する所感について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会中継を見た際、学童保育の委託が社協から民間へと変更された件について、課長の答弁は細かくされなかった。 ・もう少し突っ込んだ質問がされていればよかった。中途半端に終わった印象がある。

89	議案に対する否決が多い件について ・町議会は議案に対する否決が多いように感じる。特に最近その傾向が強いように思うが、これは町側の提案に問題があるのか、それとも議会側が厳しいのか。
90	議員定数削減についての個々の議員の考え方は。
91	議員定数削減に関連して、業務量と体制の妥当性について ・議員にはさまざまな業務があり、一定の事業量もあると思うが、仮に定数を現在より2人減らした場合、町対応や住民対応の両面で、議会として十分に機能すると思うか。
92	・テーマ「まちづくり」は範囲が広すぎるため、もっとテーマを絞ったほうが良いのではないか。
95	議会懇談会は、年一回の開催ではなく数回必要では。
96	3会場ではなく、全地区を回ることが必要では。
97	議員は、いろいろな場面に顔を出して、幅広い意見や話を聞くべきでは。
98	・議員定数の見直しが必要ではないか。 ・現在は1名減っているが、支障はないと感じている。
99	行政がお金を使うことには、意味のある使い方が必要であると感じている。何に、どれだけのお金が、何のために、またその使われた結果がどうであったかを、町民にもっとわかりやすく示していただくことをお願いしたい。
100	議会だよりは、質疑と答弁だけでなく、いろいろな角度からの記事が多くあり、わかりやすく評価できる。
101	・議会懇談会の結果や検証内容について、多くの町民に周知してほしい。
⑥ 地域課題（環境・防災・生活）	
102	避難所に必要な物資について ・毛布や非常食の配布はあるが、避難所に水や簡易トイレも配備が必要ではないか。

< 資料 >

「令和7年度与謝野町議会懇談会」アンケート集計結果

《懇談会開催日程及び会場》

令和7年10月9日（木） 10月15日（木） 10月17日（金） 3日間
 知遊館（11人） 野田川わーくぱる（11人） 元気館（12人）

参加者数	34 人	回収枚数	27 枚	回収率	79.4 %
男性	34 人	女性	0 人		

1 性別（%は、端数を四捨五入しているため合計は一致しません）

- ① 男性 25 人（ 92.6% ） ② 女性 0 人（ 0.0% ）
 ③ 記入なし 2 人（ 7.4% ）

2 年齢（%は、端数を四捨五入しているため合計は一致しません）

- ① 20代 0 人（ 0.0% ） ② 30代 1 人（ 3.7% ） ③ 40代 0 人（ 0.0% ）
 ④ 50代 3 人（ 11.1% ） ⑤ 60代 13 人（ 48.1% ） ⑥ 70代～ 10 人（ 37.0% ）
 記入なし 0 人（ 0.0% ）

3 議会懇談会に対する評価

① 配布資料は分かりやすかったですか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	16.0	125 点満点中	5点満点中
↑	4	36.0		
普通	3	44.0		
↓	2	4.0		
悪い	1	0.0		
計	25	100.0	91	3.6

無回答 2 人

② 報告はわかりやすかったですか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	12.0	125 点満点中	5点満点中
↑	4	48.0		
普通	3	32.0		
↓	2	8.0		
悪い	1	0.0		
計	25	100.0	91	3.6

無回答 2 人

③ 質問等に対する答弁内容はわかりやすかったですか。

評価	回答数(人)	割合(%)	合計点数	平均点数
良い	5	8.3	120 点満点中	5点満点中
↑	4	50.0		
普通	3	33.3		
↓	2	4.2		
悪い	1	4.2		
計	24	100.0	85	3.5

無回答 3 人

④ 総合的にどうでしたか。

評 価		回答数(人)	割 合(%)	合計点数	平均点数
良い ↑ 普通 ↓ 悪い	5	4	16.0	125 点満点中	5点満点中
	4	11	44.0		
	3	7	28.0	91	3.6
	2	3	12.0		
	1	0	0.0		
計		25	100.0		

無回答 2 人

⑤ 懇談会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

1 お知らせ版	9 人	2 ホームページ	1 人	3 FM告知	4 人
4 文字放送	0 人	5 町内回覧	8 人	6 友人・知人・家族	3 人
7 その他(区、SNS等)	9 人			無回答	0 人

⑥ 懇談会のテーマについて

1 テーマを設ける	14 人	2 テーマを設けない	5 人
3 どちらでも良い	4 人	4 希望するテーマがある	2 人
		無回答	2 人

・町や議会などで現在の話題(問題)になっている事項・意見・要望など

・現在議会・町で話題(問題)になっている事項・要望・意見等。

⑦ 開催会場について

1 24区	2 人	2 各小学校区	3 人
3 岩滝・加悦・野田川の3地域別	19 人	4 その他	2 人
		無回答	1 人

・3地域別+全体のまとめの開催が必要と思います

・4テーブルのまとめが必要と思うので+1回開催

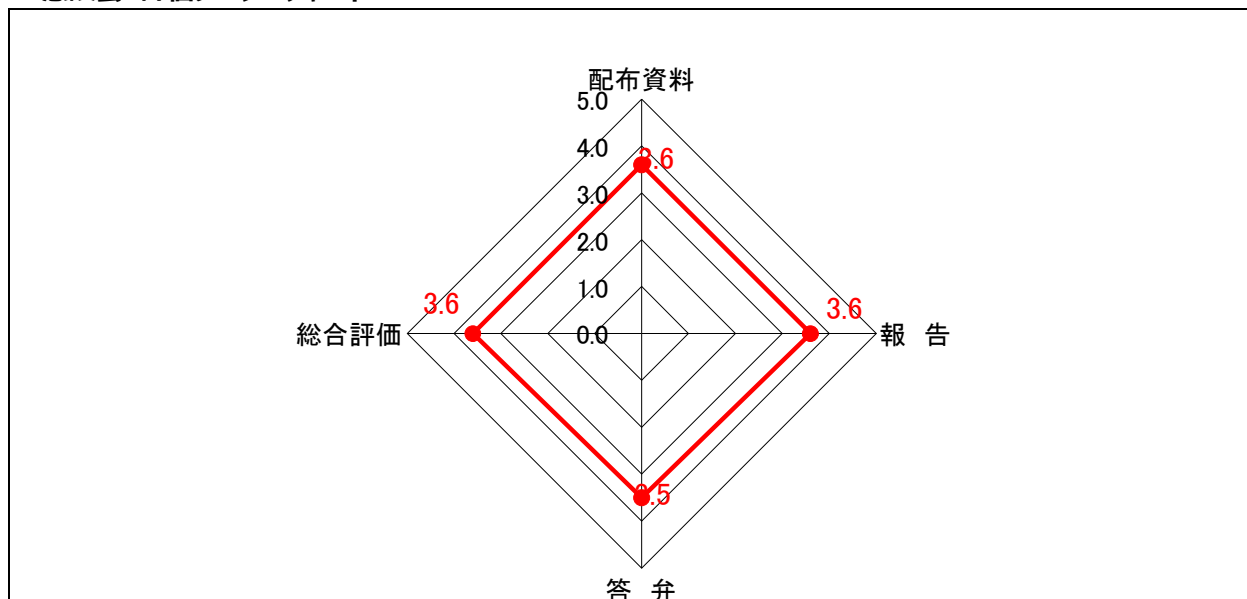
⑧ 開催方式について

1 今回のような少人数が良い	20 人	2 これまでのような大人数が良い	2 人
3 その他	1 人	無回答	4 人

⑨ 開催回数は

1 今のままで良い(年1回)	18 人	2 もっと多くしてほしい	7 人
		(2回2人)	無回答 2 人
		(4回1人)	
		(6回1人)	(回数未回答 3人))

* 懇談会 評価レーダーチャート



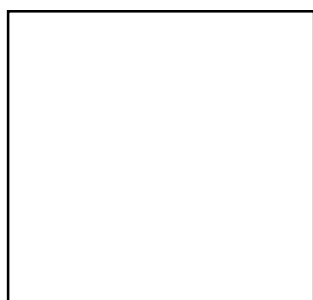
4. 懇談会の内容について、何かお感じになったことがあれば、記入してください。

- 内容に工夫がほしい。
- 小グループの方が話しやすい。
- 一般町民の方が参加しやすいような工夫が必要だと感じた。町内で活躍されているボランティアの方へお誘いされるなども一考化と思います。
- アンケートの質問事項について、以前よりほぼ同じ内容になっていると思います。時節に合わせた内容に変えていく必要があるのではないかと感じました。懇談が終わってすぐにアンケートを出すのではなく、後で出してもいいとの文言を、アンケートの最後に記載して下さい。4グループに分けるのはいいのですが他の班の内容が分かりません。できることなら全体の内容が知りたいです。参加人員が少ないと思います。議員さんが同伴者？を勧誘すれば多くなるのではないかと思います。参加者が多くなると町全体の雰囲気がより理解できるようになると思います。参加者が多くなると個人の懇談時間が少なくなります。開催時間が短すぎると思います。できればもっと長くして下さい。
- テーマが大きくてまとまらない
- 懇談会にもう少し参加していただけるように考えていただきたい。
- 深堀ができない。
- 参加人数があまりにも少ないのが気になります。もっと議員の思うところを聞きたい。
- 資料に数字を入れてほしい（金額、人数等）。人数予算のことをもう少し。
- 色々な話が聞けて参考になりました。
- ざっくばらんに話し合え、共通の問題として、とらえてよかった。
- 話しやすく、私たちの疑問に議員が答えて下さり良くわかりました。このような懇談会を今後もお願いします。
- 他の席の声が大きく、あまり耳に入らないように。お願い。
- 色々な面にわたり話すことができた（町づくりといった本題には至らなかったが...）
- 1) 岩滝会場より、野田川会場は議員・少ない参加者からも多くの意見が出て和やかに懇談できたと思います。
2) ほとんど発言されない議員さんもおられました。
3) 参加者が少なく意見を多く発言できるのですが、寂しい感じがします。参加者を増やすとともに懇談時間を長くいただければ、もっと有意義な懇談会ができるのではないかと思います。
4) お話をして、議員さんの個人的な考えや意見が、少しだけ分かったような思いがして有意義な懇談だと思いました。意思の疎通は、話し合いは必要で大事なことで感じました。

5. 議会に対する、ご質問やご意見などありましたら、自由に記入してください。

- 阿蘇シーサイドパークの利用について、音楽野外ステージ（スペース）がほしい。
- 少し努力してほしい。
- 議会だより 77 号の特集「議員になりませんか」掲載された主旨は？
- ご苦労様です。頑張ってください。
- 議会のことはよく知りませんし議会の傍聴に参加したこともありません。たまたま有線放送で見ることがあります。本会議だけでなく、いろいろな情報があるとは思いますが出来れば委員会等の様子もぜひご検討のお願いをいたします。また他議会に対する要望や質問等についてどのような方法があるのかを分かりやすく町民に知らせるような工法を願います。
- 議員さんの意見が聞けない？ 返答があいまい。
- 議員定数を減してほしい。女性枠を設けてはどうか。
- 随時意見が言える HPなどを設けてほしい。
- 特になし
- 会場が少々狭い
- 私は議員さんと個人的にお話をする機会はほとんどありませんし、議会のことも知りません。懇談会で、気軽に相談や意見を聞かせてほしいとのお話があり、機会があればお話ししたいと思いました。できるかどうか知りませんが、議会事務局（議会）として事務局や議員・議会に対する、意見・相談・質問等ができるような簡単な手続（方法）教えて下さい。また（考えて）（作って）ください。議会資料、下から4段目に、下水道料金の見直し（値上げ？）とあります。また、物価対策等の補助金などがあれば、全町民が恩恵を受けるような方策をとってください。値下げかもしれませんが？

与謝野町議会懇談会



テーブル

令和7年10月

与謝野町議会

与謝野町議会 議会懇談会次第

- | | | |
|-----------|---|---------|
| ① 開 | 会 | 議会運営委員長 |
| ② 開会のあいさつ | | 議 長 |
| ③ 議会からの報告 | | 議会運営委員長 |
| ④ 懇 | 談 | |
| ⑤ 閉会のあいさつ | | 議会運営委員長 |

<議会からのお願い>

- 記録のため写真撮影や録音をさせていただきます。
- ご質問の内容によりましては、調査後回答させていただくことがあります。
- 今後の活動に活かすため、アンケートのご協力をお願いいたします。
- 本懇談会は、町民の方の声を広くお聞きすることにより、議員の資質向上と活動の一助とすることを目的としております。忌憚のないご意見をお聞かせください。

MEMO

議会懇談会資料

議会からの報告

与謝野町議会は定数が16名のところ、現在は1名欠員の15名で構成されており、3つの常任委員会のうち総務文教厚生常任委員会、産業建設環境常任委員会に所属し、会期中会期外を問わず、日々活動をしております。

また、総務文教厚生常任委員会、産業建設環境委員会から選抜された広報常任委員会委員は、「議会だより」編集・発行を行っております。

今回の議会懇談会の開催にあたり、各常任委員会の現況を報告させていただきます。

①総務文教厚生常任委員会

所管の課は、総務課・企画財政課・住民税務課・福祉課・保健課・子育て応援課・教育委員会（学校教育課・社会教育課）・会計課になります。（8課）

喫緊の課題としては、財政健全化、計画的な行政運営、小学校を含む施設統廃合、公共施設の指定管理のあり方等の検討課題が山積しており、また近年異常気象とも言われる風水害や地震に対する地域防災のあり方も課題であります。住民の暮らしと安心安全な町づくりは不可欠であり、行政、各担当課をはじめ、各種団体との協議や懇談を通し、諸課題等について、調査研究を積極的に進め、少しでも行政施策に活かされるよう取り組んでまいります。

②産業建設環境常任委員会

所管の課は、農林環境課・産業観光課・建設課・上下水道課になります。（4課）

喫緊の課題は、商工業支援、農業支援、企業誘致、広域観光振興のあり方、公共の観光施設の管理方法、考え方などが課題であります。とりわけ下水道料金の見直し、ごみ処理有料化など諸課題に対し、行政、各担当課をはじめ、関係団体と協議、懇談会を通し調査研究を重ね、先進地の視察などの研修により、少しでも住民利益に繋がるよう取り組んでまいります。

③広報常任委員会

構成は総務文教厚生常任委員会と産業建設環境常任委員会から3名ずつ選抜され、そこに副議長が加わる構成となっております。

主に年4回発行する「議会だより」の編集、発行を職務としております。

町民の皆様手に取って見ていただけるよう読みやすい広報誌を目指して日々研鑽しております。

今後の取組

議会の今後の取組みとして、議会の活動をさらに皆さんにご理解いただくため、議会懇談会の取り組み方、ハラスメントの防止及び研修、ペーパーレス化の導入など、議会活性化に向けて、積極的な調査・研究に努めてまいります。

与謝野町議会では、町民の皆様と一体となり、また議員間での協議を重ねることによって「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」が実現できると信じております。これからも一歩ずつではありますが着実に進んでまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解と一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

与謝野町議会の概要

令和7年10月

与謝野町議会

与謝野町議会の概要

議会は、町の予算や条例などの議案を審議し、決定（議決）します。また、町の事務が適切に行われているか監視する役割も持っています。

議会と町長は、お互いの独立・対等の立場を尊重しながら、牽制や協力しあい、町民のためのより良い町政の実現をめざしています。

また、議会では町民の願いを請願・陳情というかたちで受け付けています。

【定例会と臨時会】

議会は、年4回（3月、6月、9月、12月）定期的に開かれる「定例会」と、緊急に議会の議決を必要とする事項を審議するために開かれる「臨時会」とがあります。

【本会議】

定例会や臨時会において、議員全員が集まって開かれる会議を本会議といいます。この本会議で議会の最終的な意思決定を行います。

【議員の人数と任期】

議員数 15人（条例定数16人・現在15名）

現議員の任期は、令和4年4月16日から令和8年4月15日まで

【議会の構成及び組織】

議 長 山崎 良磨

副議長 今井 浩介

監査委員 安達 種雄

【委員会】

委員会には、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会があります。

《常任委員会》

一定の部門の町の事務に関する調査及び議案や請願、陳情などの審査を行います。

総務文教厚生常任委員会・産業建設環境常任委員会・広報常任委員会の3つの常任委員会があり、総務文教厚生常任委員会・産業建設環境常任委員会は全議員がいずれか一つの委員会に所属しています。

広報常任委員会は、総務文教厚生常任委員会・産業建設環境常任委員会から各3名と副議長により構成されます。

また、常任委員会は、所管する課の事業などについて、議会の閉会中にも、調査・

研究等を行います。

[各常任委員会の構成・所管事項]

◆総務文教厚生常任委員会（8人 定数8人）

総務課、企画財政課、住民税務課、会計課、福祉課、保健課、子育て応援課及び教育委員会の所管並びにそれらに関する事項

所属議員	委員長	和田 裕之	副委員長	今井 浩介
	委員	杉上 忠義	高岡 伸明	宮崎 有平
		永島 洋視	浪江 秀明	三田 義幸

◆産業建設環境常任委員会（7人 定数8人）

農林環境課、産業観光課、建設課及び上下水道課の所管並びにそれらに関連する事項

所属議員	委員長	野村 生八	副委員長	河邊新太郎
	委員	藤田 史郎	安達 種雄	山崎 政史
		家城 功	山崎 良磨	

◆議会広報常任委員会（7人 定数7人）

広報誌「議会だより（年4回発行）」の編集、発行を行っています。

所属議員	委員長	浪江 秀明	副委員長	永島 洋視
	委員	杉上 忠義	野村 生八	宮崎 有平
		安達 種雄	今井 浩介	

«議会運営委員会»（6人 定数7人）

議会の円滑な運営を図るために、会議の日程や運営の手順のほか議会運営全般について協議し、意見調整を図る場として設置しています。

副議長と2人以上の会派から各1人が選出されます。

所属議員	委員長	宮崎 有平	副委員長	永島 洋視
	委員	浪江 秀明	安達 種雄	和田 裕之
		今井 浩介		

《特別委員会》

特定の事案を調査、審査するため、特に必要があるときに議会の議決によって設置されます。現在、設置されている特別委員会はありません。

【全員協議会】

議案の審査又は議会の運営等に関し協議又は調整を行うために、全議員を対象に開催します。

【会派別議員】 (届け出順)

- ・日本共産党与謝野町議員団【永島洋視・高岡伸明・野村生八】
- ・秀貫クラブ【浪江秀明】
- ・希望の会【安達種雄・三田義幸】
- ・よさの21クラブ【今井浩介・和田裕之・山崎政史】
- ・みらいの会【宮崎有平・藤田史郎】
- ・無会派【杉上忠義・河邊新太郎・家城功・山崎良磨（議長は会派に属さない）】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

議会の開催状況 (令和6年4月1日～翌3月31日)

●議会（78日）

定例会（75日）

6月	(6月5日～	6月18日	14日間)
9月	(9月3日～	9月25日	23日間)
12月	(12月3日～	12月18日	16日間)
3月	(3月4日～	3月25日	22日間)

臨時会（3日）

開催日	4月22日～4月23日	2日間
〃	11月7日	1日間

●常任委員会（54日）

総務文教厚生常任委員会	1 6 日
産業建設環境常任委員会	1 5 日
広報常任委員会	2 3 日
●議会運営委員会	1 8 日
●全員協議会	1 0 日

議会懇談会 アンケート用紙

※今後の参考とするため、懇談会の感想などについてお聴かせください。

1 性別 ①男性 ②女性 ③答えたくない					
2 年齢 ①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代以上					
3 懇談会の内容についてお伺いします。（該当番号に○印を付し、必要事項を記入してください。）					
質 問 項 目	良い 5	← 4	普通 3	→ 2	悪い 1
①配布資料はわかりやすかったですか。	5	4	3	2	1
②報告はわかりやすかったですか。	5	4	3	2	1
③質問等に対する答弁内容はわかりやすかったですか。	5	4	3	2	1
④総合的にどうでしたか。	5	4	3	2	1
⑤懇談会を何でお知りになりましたか。（複数ある場合は、すべてに○印をして下さい。） 1. お知らせ版 2. ホームページ 3. FM音声告知 4. 文字放送 5. 町内回覧 6. 友人、知人、家族など 7. その他（ ）					
⑥懇談会のテーマについて 1. 今回のようにテーマを設ける 2. テーマを設けない 3. どちらでも良い 4. 希望のテーマがあれば記入して下さい （ ）					
⑦開催会場について 1. 24各区 2. 各小学校区 3. 岩滝・加悦・野田川の3地域別 4. その他（ ）					
⑧開催方式について 1. 今回の様な少人数が良い 2. これまでのような大人数が良い					
⑨開催回数は 1. 今のままで良い（年1回） 2. もっと多くしてほしい（年 回）					
4 懇談会の内容について、何かお感じになったことがあれば、記入してください。					
5 議会に対する、ご質問やご意見などありましたら、自由に記入してください。					

ご記入後は、受け付けにお渡しください。 ご協力ありがとうございました。

与謝野町議会

議員と町民の皆さんとの 意見交換を行います

与謝野町議会では、議会基本条例に基づき、広聴活動の一環として、議員と町民の皆さまが意見交換を行う場「議会懇談会」を開催します。

今年も、ご参加いただいた皆さまが意見を出しやすいよう、参加者と議員を少人数のグループに分け、グループごとに意見交換を行います。

ご都合のよい会場へぜひお越しください。

なお、大雨警報発令など、気象状況やその他の事情により中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。



懇談会のテーマ

「まちづくり」

●開催日、会場

開催日	開会時間	会 場
① 令和7年10月9日(木)	午後7時30分～9時00分頃	知遊館(あじさいホール)
② 令和7年10月15日(水)	午後7時30分～9時00分頃	野田川わーくばる (多目的ホール)
③ 令和7年10月17日(金)	午後7時30分～9時00分頃	元気館(農事研修室)

※和やかな雰囲気での意見交換を目的としておりますので、議員は平服で出席する場合もございます。あらかじめご理解とご協力をお願いいたします。



主催：与謝野町議会（連絡先：与謝野町議会事務局 0772-43-9027）